

# 人間社会研究科 実践福祉学専攻：正科生 カリキュラム(2024年以降入学)

2025年度版

修了に必要な単位数：30単位以上

入学後に必要な修得単位数：30単位以上

■必修11単位＋選択19単位以上

区分	入学後		合計
	必修	選択	
学科科目	11単位	19単位以上	30単位以上
合計	11単位	19単位以上	30単位以上

(1) 2年間以上の在学期間と、卒業に必要な修得単位数(必修11単位＋選択19単位以上)を満たしている場合には、年度末(3月)で自動的に修了となります。

開講年次 下位学年の開講科目は、どの科目でも履修できます。

学修方法 R:レポート科目 S:スクーリング科目

単位数 ( )内の数字は、その科目で修得できるスクーリング単位数です。

2024年9月時点の予定であり、変更になる場合があります。

開講年次	科目区分	科目名	学修方法	単位数		履修料	スクーリング			備考
				必修	選択		コマ数	日数	受講料	
<b>学科科目</b>										
1年	原理科目群	仏教と共生原理	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
		社会福祉原理研究	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
		社会福祉制度政策研究	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
	実践理論科目群	ソーシャルワークの基礎	S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
			R	2	22,000					
		個人や家族のソーシャルワーク	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
		グループを活用したソーシャルワーク	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
		ジェネラリストソーシャルワーク	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
		ソーシャルワークケースマネジメント	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
		コミュニティを基盤としたソーシャルワーク	R	2	22,000					
			S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
	ソーシャルワークアドミニストレーション	R	2	22,000						
		S	2 (2)	22,000	14	7	15,000			
	ソーシャルワークスーパービジョン	R	2	22,000						
		S	2 (2)	22,000	14	7	15,000			
	関連領域科目群	家族支援特論	R	1	11,000					
			S	1 (1)	11,000	7	4	7,500		
		グリーフケア特論	R	1	11,000					
			S	1 (1)	11,000	7	2	7,500		
		アントレプレナー特論	R	1	11,000					
			S	1 (1)	11,000	7	2	7,500		
	国際社会福祉特論1	R	1	11,000						
		S	1 (1)	11,000	7	7	7,500			
	国際社会福祉特論2	R	1	11,000						
		S	1 (1)	11,000	7	4	7,500			
	リサーチ科目群	ソーシャルワークリサーチ総論	S	2 (2)	22,000	14	7	15,000		
R			2	22,000	14	7	15,000	1年次履修推奨		
量的分析方法特論		R	1	11,000						
		S	1 (1)	11,000	7	7	7,500			
質的分析方法特論		R	1	11,000						
		S	1 (1)	11,000	7	4	7,500			
プログラム評価特論		R	2	22,000						
	S	2 (2)	22,000	14	7	15,000				
フィールドワーク演習	R	1 (1)	11,000	7	個別調整	7,500	特定課題研究演習と連動			
	S	1 (1)	11,000	7	個別調整	7,500	特定課題研究演習と連動			
2年	リサーチ科目群	特定課題研究演習	-	4	44,000				◆履修条件参照	

◆履修条件 ※詳細はスタディガイドをご覧ください。

特定課題研究演習	1年次必修科目の「ソーシャルワークの基礎」、「ジェネラリストソーシャルワーク」、「ソーシャルワークリサーチ総論」、「フィールドワーク演習」の単位修得、並びに履修前年度の指定された日までに研究計画書が提出されていることを条件とします。
----------	--

◆履修に関するご案内と注意事項

①	1年次に開講される必修科目「ソーシャルワークの基礎」(2単位、「ジェネラリストソーシャルワーク」(2単位)、「ソーシャルワークリサーチ総論」(2単位)、「フィールドワーク演習」(1単位)は、必ず1年次に履修すること(⑤)にも記載していますが、これらの科目を単位取得しないと特定課題研究を2年次に提出できません。
②	大学院科目のスクーリングは、基本、対面授業とオンライン(ZOOMを使用授業のハイブリットでの併講となっています。学びを深める意味でも出来るだけスクーリングで受講を推奨します。
③	「ソーシャルワークリサーチ各論」(1学期開講、選択、スクーリングのみ)は、オムニバスで開講される科目です。実践福祉学専攻の教員全員がそれぞれの専門性を生かしたリサーチ方法をお伝えします。選択科目ですが、強く履修登録をお勧めします。受講生がこの科目内容を理解していることを踏まえて、「ソーシャルワークリサーチ総論」(2学期開講、必修、スクーリングのみ)の授業は展開されます。※4学期制で実施する通学課程に併せて開講します。
④	「フィールドワーク演習」(後期、1単位、必修)は特定課題研究(論文指導)の指導教員を選択する上で重要な科目となります。授業日は固定ではなく教員との相談・調整によって決定します。なお、履修登録者は本科目の指導希望教員を6月末頃までに決めることになります。
⑤	修了要件を踏まえて計画的に履修してください。 ・修了要件は2年以上在学し、必修7単位を含む26単位以上修得し、かつ「特定課題研究演習」(4単位、必修)の成果の審査および試験への合格である。 ・2年次開講の「特定課題研究演習」(必修)の履修条件は1年次必修科目の単位修得、並びに履修前年度の指定日までに研究計画書を提出していることである。 ※2年間で修了を計画されている方は、1年目にすべての必修科目の単位を修得できるように履修計画を立ててください。
⑥	履修1年目の科目(スクーリング科目を除く)の単位を修得できなかった場合、翌年度に同一の学修方法で履修を継続する場合に限り、履修1年目の合格実績を2年目にのみ持ち越すことができます。この場合、履修2年目に関しては、授業料を納入する必要はありません。
⑦	1年次には2回の中間報告会(8月・1月予定)、2年次には1回の中間報告会(8月予定)並びに1回の公聴会(1月予定)を実施しますので、必ず出席し、研究成果の報告を行ってください。*詳細はWBTや各科目のスタディガイド、通信教育部ガイドを確認して下さい。

(更新履歴)

2024年9月19日 カリキュラム表をアップロードしました。